

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 8 月 9 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2026 年 7 月 29 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	クーフシュタインチロル応用科学大学(日本語名) (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語 / 英語
留学期間	2026 年 2 月～2026 年 7 月
留学先大学で在籍した学年	学年なし 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☒ その他:Erasmus に分類される
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 3 月上旬～7 月中旬 2 学期: 3 学期: 4 学期:
学生数	人
創立年	年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (€) (1 現地通貨 = 186 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	3967	円	
食費		250000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	45	円	
現地交通費	0	0 円	大学まで徒歩 25 分 (☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	270	円	
旅費(留学中)		250000 円	
被服費	25	円	
医療費	0	0 円	
保険費		500000 円	形態: 海外旅行保険
渡航旅費	0	円	
ビザ申請費	0	0 円	
雑費	270	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	4577 (=851322 円)	1000000 円	
総計(A+B) ※円		1851322 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田 目的地：ミュンヘン 経由地：

復路 出発地：ミュンヘン 目的地：羽田 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：ANA

料金：ANA の特典航空券

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：

料金：

復路 航空会社：

料金：

∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☐ インターネット(サイト名：)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☐ 学生寮(寮の名前：) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特になし

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のネットワークが不安定で繋がりにくい

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

wise や revolut を使用して現金を引きだしていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

化粧水や薬

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
2 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Brand Management, Commercials& Valuation	ブランドマネジメント
科目設置学部・研究科	international business course
履修期間	4 月～7 月
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Sorrentino Giuseppe
授業内容	ブランドマネジメントによる効果の予測、結果の計算が主だった。WACC など。
試験・課題等	最終プレゼン
感想を自由記入	計算が多い授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Insights from personality psychology		人格心理学の洞察
科目設置学部・研究科	international business course	
履修期間	3 月～5 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	Edelmann Anna-pia	
授業内容	resilience についての授業だった。自己分析のようなことをした。	
試験・課題等	宿題、最終プレゼンなど	
感想を自由記入	プレゼンの比率が大きい授業だった。教授の採点の基準が曖昧で、好みで点数をつけられていると感じた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
sustainability and energy business		持続可能性とエネルギービジネス
科目設置学部・研究科	international business course	
履修期間	2 月～5 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	Woyke Wolfgang	
授業内容	エネルギーとビジネスを絡めた授業。	
試験・課題等	最終プレゼンがある。	
感想を自由記入	アクセントが強く聞き取りづらい授業だった。ただワークは簡単なので単位は出やすい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
behavioral economics		行動経済学
科目設置学部・研究科	international business course	
履修期間	3月～6月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に180分が1回	
担当教授	Gruber Stefan	
授業内容	計算などを用いて人々の行動の傾向などから予測を立てたりした。	
試験・課題等	最終プレゼン	
感想を自由記入	最初から専門的な内容で専門用語をたくさん使う。想像していたものとは内容がかなり違いとても理解が難しかった。ただプレゼンは簡単。教授が急に怒り出すので怖かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
rhetoric& presentation		レトリックとプレゼンテーション
科目設置学部・研究科	international business course	
履修期間	3月～5月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に180分が1回	
担当教授	Kamper Kristina	
授業内容	プレゼンをどう行くと効果的かの授業だった。	
試験・課題等	最終プレゼン	
感想を自由記入	最終プレゼンのためにマインドマップを作ったりスクリプトを作ったり、プレゼンテーションのクオリティが求められるため一番大変だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
sensory marketing	感覚マーケティング
科目設置学部・研究科	international business course
履修期間	3 月～5 月
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Kamper Kristina
授業内容	聴覚、嗅覚など五感を使ったマーケティングを使用している企業を比較、分析し毎回の授業で少人数グループに分かれてプレゼンをした。
試験・課題等	最終プレゼン
感想を自由記入	教授がプレゼンの講義の人だったのでプレゼンテーションの回数が一番多い授業だった。ただ授業内容は興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
the me brand	私のブランド
科目設置学部・研究科	international business course
履修期間	4 月～7 月
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Wollmann Bernd
授業内容	企業などのブランドマーケティング方法を学習し、それを応用して自分のブランドをプレゼンする。ブランドマーケティングの学習が主で、自分のブランドについては最後の数授業分だけだった。
試験・課題等	最終プレゼン、宿題
感想を自由記入	グループワークを中心とし、生徒同士の交流が多いクラスだった。ただ学期終盤だったので最初の方にあったらもっと良かったと思う。教授が生徒に絡む人だった。宿題は少ない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Austrian Culture and History	オーストリアの文化と歴史
科目設置学部・研究科	international business course
履修期間	3月～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Rainer Michael
授業内容	現地に足を伸ばしそこで実際に建造物などを見ながら教授の講義を聞く形だった。
試験・課題等	最終プレゼン、テスト
感想を自由記入	ザルツブルグ、インスブルグ、クーフシュタインを回るのだがとても歩くので身軽な方がいい。授業料が110ユーロほどかかり、ただ観光したいだけなら個人でいった方がいい。ただとても勉強になったし、教授はとても良い人だった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

ワンキャリア、マイナビ

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

広告業界、メーカー

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

エンカレッジなどのエージェントは利用していいと思う。明治大学のキャリアセンターにESの添削を頼んだが言葉の訂正ばかりであり役に立たなかった。ES添削はここじゃない方がいい。3年の夏までに帰って来れるならほとんど就活に影響はないし、焦る必要はないが2年のうちに留学に行った方がESの締切など気にせず楽しめると思う。私は必要性を感じずしなかったが、ルームメイトは日本に一時帰国してボスキャリアに参加していた。不安ならその選択肢もいいと思う。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	TOEFL 試験勉強、出願
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	ドーム確保、航空券購入、ビザ申請、取得、
留学開始年	1 月 ～ 3 月	予防接種、渡航
	4 月 ～ 7 月	留学先期末試験、帰国
	8 月 ～ 9 月	留学報告書
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

この留学先を選んだ理由はオーストリアという場所が他国に旅行しやすい、留学生へのサポートが手厚いという 2 点でした。ミュンヘンまで 1 時間半、ウィーンまで 3 時間と少しなので旅行しやすいのかは分からなかったです。学期初めや終わり、学期中にも大学の学生団体がイベントを開催してくれるので友達ができないという点で困ることはありませんでした。留学生は台湾、韓国、日本と東アジアが多いです。関西の大学からの日本人学生が前学期から継続して 1 年間居るので、日本人だからということで不便はありませんでしたが日本人という希少性も全くないです。また現地の学生と関わりたいと思っているなら授業は現地の学生が取っている regular course の英語のクラスを取るのをお勧めします。international business course に分けられている留学生のみの英語の講義を選択すると現地の学生はいないです。またこの留学生用の授業は一回 4 時間で長いです。ただ留学生とはたくさん関われるので各国に知り合いができます。びっくりするほど治安が良い街で周りの人も優しい人ばかりなので不安に思う必要はないです。